

度の5年間の取り組みに向けて、「橿原市男女共同参画行動計画（第2次）改訂版」に「プランセカンドステージ」が策定されている。家庭や地域、教育現場、職場等々と行政が連携、協力すれば、男女共同参画社会のさらなる推進が可能である。今年度からの5年間を男女共同参画社会推進の総仕上げの期間とし、国内で最大規模の会議である日本女性会議を開催することなどは、大変意義のあることだと思う。本市での日本女性会議の開催についての考えは。

問 約2千人の方が来られた場合の経済効果は。

答 2泊3日で本市に宿泊し、食事、観光、買い物等もされることを期待した上での経済効果は、約7,400万円と試算している。日本女性会議の誘致については、平成30年には八木駅南1,100坪に建設するホテル等の複合施設が完成予定であり、それに併せて、1人でも多くの方に橿原市に来ていただき、市の魅力、また世界遺産のPR等も行っていきたい。

問 市制60周年記念行事として、日本女性会議の開催も検討の一つに入れてはどうか。

答 2016年度の開催地候補として、秋田市が候補に挙がっていると、日本女性会議実行委員会から聞いている。また、会議開催に向けては、多大な予算、宿泊施設の手配、県及び近隣市町村の協力も必要となる。本市においては、まず地域における男女共同参画推進の基盤づくりが重要であり、自主的に活動できる市民活動グループを活性化していくことが最重要課題と考えている。

問 文化芸術振興基本法に「国は、高齢者、障害者等が行う文化芸術活動の充実に図るため、これらの者の文化芸術活動が活発に行われるような環境の整備その他の必要な

答 橿原市、高取町、明日香村で共催している地域生活支援協議会の部会活動として作品展を行っている。その他、サービスを実施している各事業所においても、レクリエーション活動や社会見学、工作など、様々な活動をされている。

問 それらの取り組みについての効果、成果は。

答 障がい者の中には、家に閉じこもりがちになる方もいるが、文化芸術に関する活動も含め、スポーツやレクリエーション等に参加する機会を増やしていくことは、自立を支援する上で重要である。また、学校に障がい者をゲストティーチャーとして招き、交流することで、共存社会の理解拡大に寄与している。

答 今年度開催された阿南市においては、阿南市女性協議会などの実行委員会が中心となり、協賛金やメンバー集め、企画、運営に至るまで、すべて団体独自で実施されており、地域に根づいた市民活動グループが自立した組織として成り立っているからこそ開催できた。また、全国から約2千人の方が参加されることから、行政、市民団体、企業が協働のもと運営していくことが不可欠である。本市では、現在21団体が男女共同参画推進団体に登録していただいているが、男女共同参画推進に

問 本市で開催した場合、費用はどの程度かかるのか。

答 2千万円程度かと思う。

障がい者等の文化芸術振興

問 文化芸術振興基本法に「国は、高齢者、障害者等が行う文化芸術活動の充実に図るため、これらの者の文化芸術活動が活発に行われるような環境の整備その他の必要な

答 万葉ホールでは、バリアフリー化と点字案内の充実に図っている。ロマンピアホール、視聴覚室、研修室2、レセプションホールには、磁気テープ設備を設置している。ロマンピアホールでは、車いすのまま観覧できる席も用意している。駐車場には、常時8台分の障がい者用駐車スペースを確保している。こども科学館においては、障害者手帳か療育手帳の交付を受けた方及びその介護者の入館料を半額免除等している。

問 小中学生対象の事業は。

答 市立小中学校において、人権教育の一環として様々な福祉体験学習を実施している。学校により内容は異なるが、アイマスク体験、手話体験、車いす体験、高齢者疑似体験等、また、近隣の養護学校の生徒との交流といったものがある。